

## 第6章 奥大野の将来像

キャッチフレーズ

「倉垣花の庄 心のふるさと 奥大野へようこそ！」

### 1 基本テーマ

#### 1 豊かな自然環境保全と伝統文化を軸とした地域活力づくり

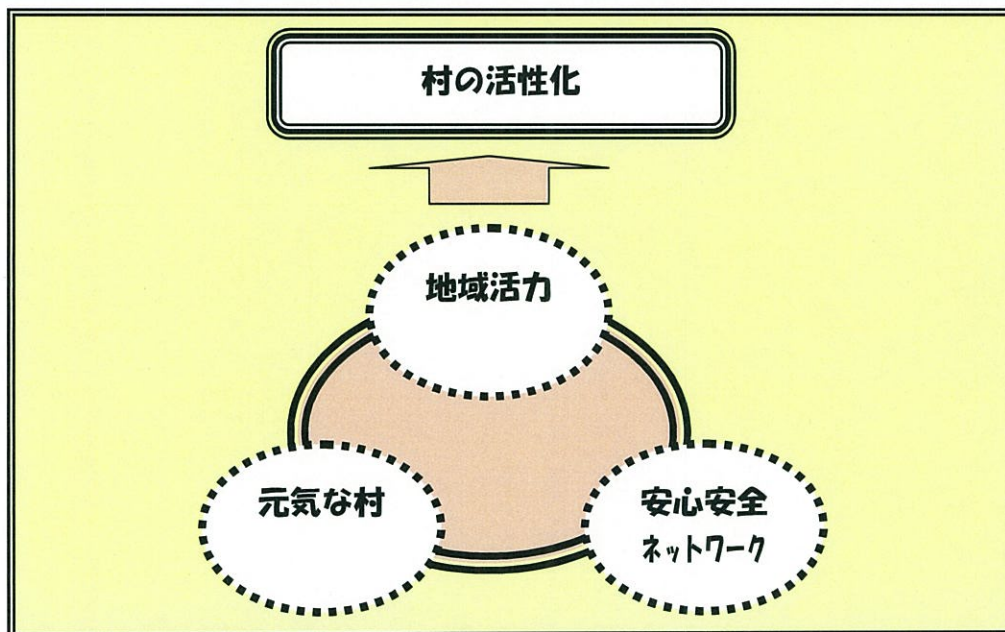
緑豊かな自然や伝統芸能・文化・歴史を大切にし、継続発展することにより、地域の自然環境保全強化と伝統文化の向上を進め、地域活力の増強を図る取り組みを積極的に進めていきます。

#### 2 区民が健やかで安心して暮らせる安心安全な地域づくり

少子高齢化の進行に伴い、地域福祉サービスの充実強化や安心安全なまちづくりが求められており、安心安全に関わる地区内外の各種組織・団体とのネットワーク化を推進し、区民が健やかで安心して暮らせる安心安全の強化を図る取り組みを積極的に進めていきます。

#### 3 人口の増加で元気な村づくり

地域資源や特性を活かしたにぎわいの創出で人づくり、産業づくり、物づくりを進め、交流人口や定住人口の増加で元気な村の創造を図る取り組みを積極的に進めていきます。



## 2 基本テーマに基づく対策

### (1) 豊かな自然環境保全と伝統文化を軸とした地域活力づくり

奥大野には、農地56ha、山林450haの緑豊かな自然や秋祭り、地蔵盆、村の氏神祭りなどの伝統芸能・文化、1800年前から天領倉垣庄と定められた歴史を大切にし、その歴史・文化を継続発展することが求められている。

また、防災機能のある農地や山林をいかにして保全するか、また地域の伝統芸能や伝統文化をどう継承・向上していくのかといった課題を克服しなければ、地域の自然環境保全強化、また地域の伝統芸能や伝統文化の継承・向上を軸とした地域活力の強化を図ることはできない。

については、地域活力の増強を図るためには、次の対策を積極的に進めていく必要がある。

#### 『対 策』

##### ①美しい野山と農村風景づくり

###### ア、農地・農道・水路・ため池等の保全活動

- ・草刈り一斉行動日等、地域を挙げての保全活動を行う。
- ・農家及び農地所有者は保全活動に努め、非農家も参加する。
- ・農地・農道・水路・ため池等の点検・補修・管理を定期的に行う。
- ・区の村役を継続発展させる。
- ・荒廃農地の防止と再利用を促進する。
- ・ため池の外来魚を駆除する。
- ・蛍がすめる水路の整備と浄化活動を行う。
- ・農地・水・環境保全対策事業を有効活用して、保全活動を地域に定着させる。

###### イ、里山・林道・治山施設等の保全活動

- ・山林資源の利活用と美しい里山づくりを行う。
- ・山林地権者、非山林地権者合同で山林施設の草刈、道直しなどの保全活動を行う。
- ・広葉樹林の保全と拡大を図り、防災機能と水量・水質浄化の向上を図る。
- ・林道の整備及び造林の手入れと間伐材の有効活用を行う。
- ・荒廃竹林の整備と竹材の有効活用を行う。

##### ②伝統芸能・文化・歴史の継承発展

- ・秋祭り、地蔵盆、村の氏神祭りなどの伝統芸能・文化の継承発展を地域ぐるみで支援する。
- ・人材不足を解消するために都市住民との体験交流を進める。

- ・村の歴史を再認識し、村の物語を構築する。
- ・歴史的な遺産、地域特性、保全すべき文化遺産を再発見し、保全と利活用を図る。

### ③美化活動

#### ア、花いっぱい運動

- ・「奥の細道 花の道」の取り組みを継続し、村中を一年中花で一杯にする運動を展開する。
- ・京丹後市オープンガーデンネットワーク主催のオープンガーデンを地域ぐるみで支援して参加者を増やし、美観地域を拡大して、交流人口の増加を図る。
- ・村づくり委員会が土、苗、プランターなどの提供を行い、花づくりの担い手メンバーの育成増加を図る。

#### イ、クリーン活動

- ・春と秋に実施しているクリーン大作戦を継続し、ゴミの落ちていない美しい村を創造する。
- ・村を通過する人達にも環境美化の意識向上を図り、ゴミ捨て行為をなくす。

### ④美観づくり

- ・倉垣桜公園の充実を図りながら美しい名所づくりを拡大する。
- ・奥大野グリーンガーデン構想の実現を図る。
- ・美観建築や風景を見直し、新築や改築の際には美観風景保全のための協力や工夫を促していく。

### ⑤ふるさとの川づくり

- ・わくわく公園（河川公園）の整備、おくおおの川（常吉川）堤防の草刈り等を契機に、区民に対して川の大切さと河川美化の意識高揚を図る。
- ・河川への不法投棄撲滅等の運動を地域ぐるみで取り組み、生き物にやさしい河川づくりを進める。

## (2) 区民が健やかで安心して暮らせる安心安全な地域づくり

当区の人口は、資料が残っている平成8年と比較すると123人（13%）減少し、高齢化も平成8年では18%程度だったものが26.8%と進んでいる。また、15歳以下の人口も当時から比べると格段に減少している。

こういった中、子育てサロンや高齢者ふれあいサロンなどの地域福祉サービスの充実強化が求められている。

また、区民の安心安全を確保するためには、消防・防災、スポーツ、交

通安全、防犯、コミュニティー、支えあい活動など個別の活動を強化するとともに、安心安全に関わる地区内外の各種組織・団体が連携し、消防・防災、スポーツ、交通安全、防犯、コミュニティー、支えあい活動などを一体的に取り組むことで安心安全のネットワークを強化することが必要である。

## 『対 策』

### ①消防・防災

#### ア、消防

- ・消防団員の確保と消防資機材の充実を図り、地域消防力の強化を図る。
- ・消防団員のほとんどが地域外就労のため、昼間の災害出動が極めて困難になっているので、機能別消防団員制度の要望を行う。

#### イ、防災

- ・自主防災会の会員拡大と防災資機材の充実を図り、地域消防力の強化を図る。
- ・定期的な防災訓練の実施によって区民の防災意識を高める。
- ・災害弱者や要援護者に対して日頃の声かけ運動の励行と災害時の対応を、自主防災と福祉の会が連携して取り組む。
- ・平成14年に策定した奥大野地区防災計画の見直しを行う。

### ②コミュニティー

#### ア、公民館

- ・公民館の活動は、地区の実情に合わせた生活、社会教育課題の学習及び地区住民の交流を中心にした、住みよい地域づくりを目指すものであり、引き続き地域の活性化に取り組む組織団体と連携して活動する。
- ・スポーツ、イベント、文化などの公民館活動を通じて、人材育成を図る。
- ・京丹後市体育協会大宮支部奥大野理事役員や、区内のスポーツ団体等と連携し、地域の体育振興を強化発展する。
- ・公民館活動において、一般参加の趣味や教室、同好会やサークル活動推進の取り組みを進め、活動に対する支援や成果発表の機会を設ける。
- ・公民館で「食」をテーマにした世代間交流（そば打ち、餅つき、山野草、おばあちゃんの料理体験など）

#### イ、村づくり委員会

- ・村づくり委員会の活動は、地域の課題を克服するための諸事業や地

域資源・文化財・歴史を利活用した美化活動、名所づくり活動、研修事業等を通じての人づくり、物づくりを進め、引き続き地域の活性化に取り組む組織団体と連携して、地域の活性化を目指して活動する。

- ・村づくり活動の重要性を地域全員で共有し、区民全員が村づくり委員になって地域を活性化する取り組みを進める。

#### ウ、なでしこフラワーズ（花づくり会）

- ・1988年京都国体において、村中の沿道に花のプランターを配置したのが花づくり会の始まりであり、現在もさくら草のプランター600個の沿道配置に繋がっている。引き続き地域の活性化に取り組む組織団体と連携して地域の活性化を目指して活動する。
- ・なでしこフラワーズのメンバーを増やす取り組みを行いながら、組織を強化し、花いっぱい運動を主体的に活動する役割を担っていく。

#### エ、倉垣DOTEどて音遊会

- ・奥大野納涼祭で重要な役割を果たす倉垣DOTEどて音楽祭は、倉垣DOTEどて音遊会が担当しており、当区における音楽文化の発展にとって重要な役割も担っている。
- ・一時的なイベント活動に終わることなく、通年において区民に対して、生の音楽を鑑賞できる仕組みづくりを検討する。

#### オ、おもろげ座

- ・おもろげ座は、地区内の多芸で企画力のある有志が集まり結成された組織で、納涼祭、ええ里、敬老会など地区内イベント行事の企画立案作業というイベントの重要な役割を担っている。
- ・今後も引き続き、メンバーの増強を図り、地域内イベントの内容向上と地区外に発信できる企画づくりを行う。

#### カ、福祉の会

- ・福祉の会は、京丹後市社会福祉協議会の地域社協としての位置付けで設置され、高齢者ふれあいサロンと子育てサロンを中心に活動している。
- ・会を構成する福祉委員や民生児童委員、区役員などが連携して、今後も引き続き、地域の少子高齢化に関する諸課題に対して、サロン活動の充実など積極的に活動する役割を担っている。

#### キ、長寿会

- ・長寿会は、奥大野の老人会として長い歴史を有し、高齢者の生きがい対策や会員相互の親睦を深めることを目的に活動している。今後も引き続き、増加する高齢者が集う団体として、地区の高齢化に対して中心的な役割を担っている。

### ③セーフコミュニティ

現在地域内で行われているさまざまな安心・安全確保の取り組みについては、同じ目的であるのに民生児童委員、大宮第二小学校区の子供を守る会、自主防災会など各種団体が個別に行っている。しかし、地域としての安全課題は何か、その課題に対する対策が十分になされているのか、またその取り組みの効果はどうかなど、全体的な把握ができていないのが現状である。

そこで、子供達や高齢者など、区民のいきがいとやすらぎを確保する地域全体の安心・安全体制の強化を図るためには、安心・安全の取り組み活動を客観的に評価する仕組みや安全に関わる行政、関係機関、地域内組織間のネットワーク化、住民と行政等との協働の取り組みが必要であり、そのためには地域の安全を広域的、総合的、かつ科学的、体系的に取り組むセーフコミュニティ活動を別紙の要領で進める。

### ④スポーツ

地区内のスポーツ活動は、公民館活動として運動会やグラウンドゴルフ、ペタンクなどの全区民を対象にした大会が開催されている。また、野球、ソフトボール、バレーボール、ソフトバレー、グラウンドゴルフ、ゲートボール、卓球、バトミントンなどのクラブが活発に活動しており、社会体育の振興に寄与している。市体育協会支部の地区役員と公民館体育部によって駅伝チームの編成、活動も行われている。

今後は、地区の社会体育振興の強化を図るために市体育協会支部の地区役員と公民館体育部が合体し、全区民を対象とした、さまざまなスポーツイベントを一体的に実施し、区民の体力向上を図るため次の行動を展開する。

- ・区民全員参加による運動会、グラウンドゴルフ、ペタンクなどの大会を継続発展する。
- ・過去にあったソフトボールの隣組対抗試合を、現在にあったスポーツで復活する。
- ・各種クラブ組織の支援、育成を行うとともに、各スポーツクラブと連携し、区民のスポーツに対する意識の向上を図る。
- ・子供の時からスポーツに親しむ環境づくりを行い、将来日本を代表するスポーツ選手を育成する。
- ・健康推進委員や体育指導員などと連携し、軽スポーツや軽体操などを会議やイベントの冒頭に始めるなど、幅広く普及することによって区民の体力強化を図る。
- ・大宮第二小学校区における広域的なスポーツ活動を推進し、地域間交流を促進する。

### ⑤生活環境改善

- ・危険な交差点の改良、狭隘な道路の改良、集落内水路の改修等の工事着手を促進する。
- ・病院の誘致。
- ・買い物が不便なため、近くにスーパー、コンビニ、商店などを誘致。

### (3) 人口の増加で元気な地域づくり

当区の人口は、資料が残っている平成8年(1,033人)と比較すると123人(13%)減少し、平成23年6月現在で910人となっている。世帯数は、270世帯から44世帯(16%)増え、314世帯と核家族化が進んでいる。このままでいくと、人口の減少に加え、少子高齢化も進み、10年後には、限界集落(住民の50%以上が65歳以上で、生活道や林野の整備、冠婚葬祭など、共同体としての機能を果たせなくなり、維持が限界に近づいている集落のこと。)になっていくと予想される。

また、平成20年のリーマンショック以来の経済不況に、更に追い打ちをかけるように東日本大震災や欧州危機などによって日本経済は未曾有の経済危機を迎えている。当地区においてもその影響は大きく、基幹産業である織物業や機械金属、サービス業等に影響がでており、若者を含む中高年齢層にも雇用悪化の状況が続いている。

そのため、当地区においては、地域資源や特性を活かしたにぎわいの創出で人づくり、産業づくり、物づくりを進め、交流人口や定住人口の増加で元気な村の創造を図る取り組みを、次のとおり積極的に進めることが重要である。

## 『方 策』

### ①にぎわいの創出

ア、地域資源を生かしたイベントづくり

- ・奥大野村三大祭り(倉垣桜公園祭、納涼祭・倉垣音楽祭、ええ里づくり)を、地域の枠を超えた大きなイベントの取り組みにする。
- ・地区内外の人と人との交流を進める仮称「京街道 倉垣花の庄 手づくり市」の毎月開催を進める。手づくり市は、子供から大人、お年寄りたちが、手づくり商品の販売や芸能発表などを通じて、1日のんびりと過ごすイベントである。
- ・四季折々の季節に村中のいろんな場所で行う「くらがき村音楽祭」を開催し、村の音楽文化の発展と人の交流促進に寄与する。
- ・古くから継承されている観音堂、八幡神社、薬師堂、荒神神社、稲

荷神社地区祭を、地区挙げての大きな取り組みとして、世代間交流の場とする。

- ・地域産品の販売を行う地域特産物直売所の設置を行い、区民の収入増加を図る。
- ・オープンガーデン、オクナリエ（冬のイルミネーション）などの地区住民の取り組みを、地域を挙げて支援し、その取り組みが発展することによって人の交流を促進する。
- ・イベント行事の実施については、企画段階から若者や女性等の区民参加を実行し、「イベント行事は手段、目的は人材育成と世代間交流」を基本として取り組む。

## ②人づくり

- ・奥大野区や公民館、村づくり委員会、自主防災会、なでしこフラワーズ（花づくり会）などの各種組織構成員や役職等に、若者や女性を広く起用し、組織の活性化と人材育成を図る。
- ・若者や女性、多世代の参画で、企画実施するおもろげ座の充実を図る。
- ・退職者や高齢者の経験や知識、能力を地域づくりやグループ活動に活かす。
- ・生活習慣に先進情報システムを構築し、情報化社会に対応できる人づくりを進める。

## ③産業づくり・物づくり

ア、新たな農業のしくみづくり

「地域農業改革」

### ステップ1

- ・農事組合、国営管理組合を中心に、農業実態や課題を把握し、今後の対策を立てる。
- ・先進事例を調査・研究し、上記対応策である仮称「京丹後くらがき集落営農戦略経営計画」（以下「くらがき営農戦略」という。）樹立の参考とする。
- ・「くらがき営農戦略」は、①土地利用計画②生産者の育成（経営戦略、経営計画）③販売市場戦略④京丹後くらがきブランド化戦略などの内容構成で計画策定を行う。

### ステップ2

- ・農事組合法人楽農くらがきや農事組合、国営管理組合の人材を集めて、ステップ1で樹立した「くらがき営農戦略」の実行部隊を編成する。
- ・実行部隊を支援する応援部隊を募集する。



### ステップ3

#### ○「くらがき営農戦略」における重点的施策

- ・現在ある「おくおおの地域農場づくり調整会議」を活用して、地区内農地の流動化や集積による土地利用計画を推進する。
- ・農業経営者の育成を図るとともに、農業経営者の経営能力向上とネットワーク化を進め、経営規模と生産量の拡大を目指す。
- ・農業経営者に必要な共同利用施設を整備する。
- ・農業機械の共同利用や共同作業など、効率的な生産方法への転換を図る。
- ・地域で栽培される米や野菜、花などをブランド化する。
- ・消費者ニーズにあった安心・安全で環境にやさしい農産物の生産を行い、宅配やくらがき特産物直売所、手づくり市、もぎとり観光交流事業などによって地産地消、地産都消の農産物販売を行う。

#### 「農地の保全」

##### ○有害鳥獣被害防止策の徹底した取り組み

- ・捕獲檻や電気柵、金網柵等によって、イノシシ、シカ対策を地域を挙げて取り組む。
- ・農地周辺環境を良くして、有害鳥獣の出没を難しくする。
- ・猟友会との連携によって適宜駆除を行う。

##### ○荒廃農地の防止と再利用

- ・不耕作地の原因調査と土地利用調整と、どじょうの飼育など土地条件に適した作物の導入を行う。
- ・地域ぐるみで特産品づくりに取り組み、農地の荒廃化、遊休化を防ぐ。

#### イ、福祉いきがづくり

- ・元気で生き活きと暮らす中高齢者づくりは、村づくり計画（区総合計画）を実現させるための重要な要件であることから、地域づくり活動や公民館活動において創意工夫を凝らし、働く場づくりと生きがいがづくりが両立する取り組みを進める。
- ・若者や女性が地域活性化の担い手になり、老若男女の一体感が、和気あいあいと暮らせる地域を生み出すことができる。

#### ウ、働く場づくり

- ・米、野菜、ハウス栽培、花、果樹など農業生産を主とした農業経営者組織を構築し、農業者の雇用確保を図る。
- ・特産物直売所の設置により雇用確保を目指す。
- ・食の体験工房やアジアンショップなど、今まで地域に無かったおしゃれな店舗を地域全体で支援し、雇用の確保を図る。

- ・地域出身者の企業を誘致し、雇用確保を図る。
- ・地元企業商品の地産地消を可能な限り地域全体で進め、地元企業を支援し、雇用拡大への道筋をつける。

#### ④交流人口、定住人口の増加対策

##### ア、魅力ある村の創造

魅力ある村を創るためには、職場の確保は言うまでも無いが、もう一つ重要な要件として、個性のある人のつながりが必要である。人と人のネットワークは、魅力ある村に不可欠であり、特に新しく村に定住する人にとっては一番心の支えになる重要な事柄である。

- ・区民及び個性のある家族のU・J・Iターン誘致PR
- ・若者の流出阻止
- ・定住用住宅の確保
- ・移住のための地元受入れ体制の確立
- ・農業志望であれば農地の確保
- ・運動会や夏祭り、秋祭りなどに参加して区民に溶け込む仕組み
- ・閉鎖的な村社会から脱却し、広く住民を受け入れる区民意識の改革
- ・地域資源である緑豊かな自然や伝統芸能・文化・歴史の継続発展
- ・病院の誘致
- ・スーパー、コンビニ、商店の誘致
- ・古いしきたりや人間関係の改善
- ・子供にとって将来希望がもてる職場のある村の創造

##### イ、元気な村の創造

元気な村を創るためには、区と区民との協働活動が不可欠であるが、特に地域自治を運営する区は、地域リーダーとしての役割も持っており、区は長期的ビジョンと地域改革戦略を立てて、奥大野を元気な村に改革していかなければならない。

- ・長期的ビジョンをもった村づくり計画（区総合計画）の実現に向けて、実施体制づくりを進め、着実なPDCAサイクルの取り組みが必要である。

※Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)

- ・区政の情報公開を積極的に進める。
- ・区組織体制の充実を図る。